

活躍する卒業生

・道井俊介（ピクシブ株式会社 CTO）

制御情報工学科卒業後、九州工業大学情報工学部を卒業し、筑波大学大学院システム情報工学研究科修了。2012年ピクシブ株式会社入社。2016年に画像配信クラウドサービス ImageFlux を立ち上げ、事業部長に就任。2019年、技術開発本部本部長を経て2020年1月より CTO (<https://www.pixiv.co.jp/member/harukasan/>)。

・緒方貴紀(ugo株式会社AI戦略アドバイザー、株式会社 ACCELStars 執行役員、株式会社 SUPWAT 技術顧問)

制御情報工学科卒業後、九州大学電気情報工学科卒業を経て同大学院システム情報科学府に進学。修士1年の時に「クラウド上のモデル駆動開発ツール、CloudMDDの開発」で2010年未踏ユースに採択。2012年に岡田陽介代表取締役社長と株式会社 ABEJA を起業。Deep Learning を用いた研究やプロダクト開発に従事し、CRO を務める。2020年9月より様々な会社の技術開発・組織開発支援を行いつつ、学術機関にて人と機械学習の共創に関する研究を進めている。2021年5月より現職 (<https://www.accelstars.com/company/>)。

・大城泰平（東京大学大学院情報理工学系研究科数理情報学専攻特定助教）

制御情報工学科卒業後、東京大学工学部計数工学科卒業、同情報理工学系研究科数理情報学専攻修士課程、博士課程修了。2021年4月より現職。高専在学時に全国高等専門学校第22回プログラミングコンテスト競技部門優勝。JST ACT-I「情報と未来」にて研究題目「重みつき組合せ最適化と多項式行列理論のインタラクション」が、JST ACT-I「情報と未来」加速フェーズにて研究題目「組合せ最適化と線形代数の交点における理論と応用の探求」が採択。日本オペレーションズ・リサーチ学会研究部会「最適化の基盤とフロンティア」—未来を担う若手研究者の集い2016—における最優秀論文発表賞などの受賞多数 (<https://www.opt.mist.i.u-tokyo.ac.jp/~oki/ja/cv/>)

・堤尚孝（岡山大学学術研究院 医歯薬学域（薬学系）助教）

生物応用化学科卒業。京都大学工学部に編入学し同大学大学院工学研究科博士課程を修了後、スタンフォード大学医学部博士研究員などを経て、現在は岡山大学学術研究院で助教として活躍されている。細胞表面受容体とそのシグナルに関わる分子の立体構造と機能の解析、および構造を基にした新規機能性分子の創製などに従事され、国内外で「松尾研究奨励賞（GPCR 研究会）、内藤記念次世代育成支援研究助成金（内藤記念科学振興財団）、Best Research Achievements (University of Ljubljana)」などを受賞されている。